

YU information

|山口大学広報誌| <http://www.yamaguchi-u.ac.jp/yu/>



Contents

特集

ようこそ!知の広場 山口大学へ	03
充実の学生生活 サポート体制	06
山口大学 共通教育の特色とねらい	
時代に先駆けた、英語教育のTOEIC導入	08
共通教育の例	
■ TOEIC準備／知の広場 -人と学問-／キャリア教育科目	09
体育会&文化会 全54サークル スポークスマンさん集合!	10
新生活スタート 山大ライフスポットMAP	12
■ きっちん・すぼっと コーヒーの実／伊酒家Mare／ばんぢゃ屋 山口店／ Cafe Parfait／博多一番どり 居食家あらい 山口大学前店	
「先生おじゃまします」研究室訪問	14
シゴトのコト [OB&OG Voice 先輩に聞きました]	16
NEWS&TOPICS こちら山大情報局	18

やまだい歳時記



新入生の皆さん、山口大学へようこそ。心より歓迎いたします。桜の開花とともに、夢と期待を実現する新しい学生生活が始まります。しかし、社会と時代はこれまでにない危機に直面しており、温暖化による異常気象の頻発、グローバル化の進展、人口減少と少子超高齢化の進行、国・地方の財政危機、雇用環境の異常な悪化など深刻な問題が山積しています。この危機を突破する鍵は、若者の強い意志と主体的な行動力にあります。山口大学での多様な学習、体験、交流を通じて、危機打開の挑戦者としてたくましく成長されることを期待しています。

ようこそ! 知の広場 山口大学へ

春、到来。山口大学も希望に胸ふくらませた新入生をを迎えます。

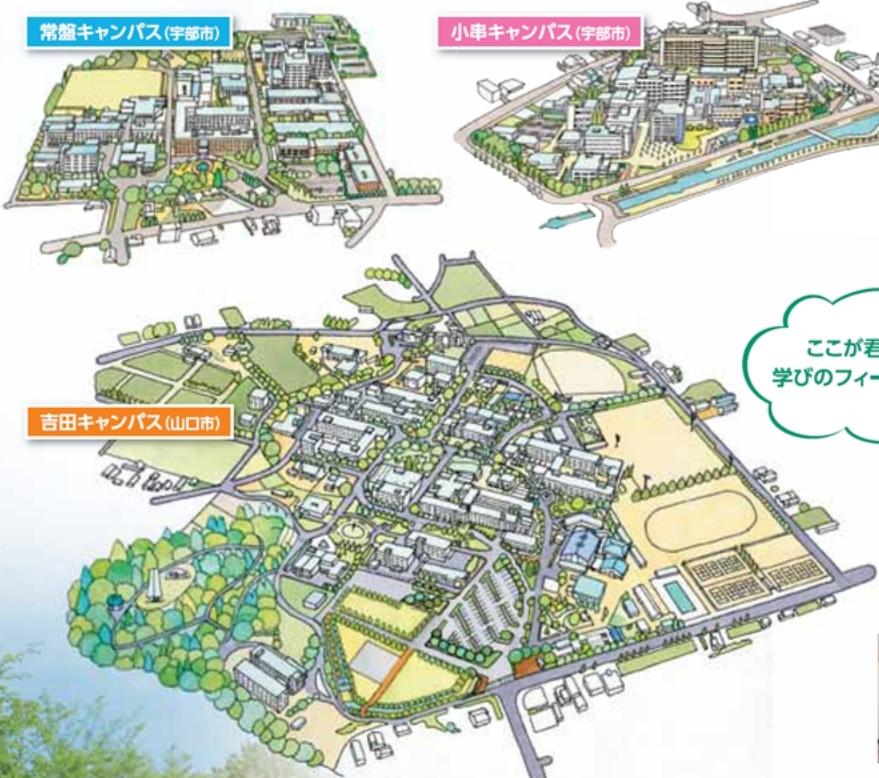
そんな皆さんへの歓迎メッセージとともに、山口大学の教育方針やカリキュラムの特徴、「おもしろプロジェクト」、表彰制度、サポート体制などについて、丸本学長に語っていただきました。

山口大学の教育方針、 カリキュラムの特徴を ご説明ください。

山口大学の理念は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」です。これは、大学ではまず自分自身をしっかりと見つめて欠点をも含めた個性を發

見し、何をやりたいのかを見極め、好きなこと、得意なことを伸ばしていく。そしてそれを卒業時には就職や大学院進学などキャリアを育む形にしていく…といった考えです。各学部の求める学生像はアドミッションポリシーに、そして養成しようとする人材像はグラジュエーションポリシーとし

て表わしていますが、その間をつなぐのがカリキュラムです。ただ漫然と単位を取るのではなく、目標に向かって学ぶためのカリキュラムを組まなくてはなりません。山口大学では、卒業時に必要とされる能力を修得するためには在学中にはどんなカリキュラムをどの順番で学べばよいのかが一目で



ここが君たちの
学びのフィールドです。



丸本学長は空手道7段、居合道4段。現在も体を鍛え文武両道を実戦していらっしゃいます。

発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場

学長表彰制度について
教えてください。



わかる“カリキュラムマップ”を作っています。これには各学部、各学科の特徴がすべて入れ込んでおり、自分で優先順位を決めながらカリキュラムを組み立てることができます。山口大学独自のマップであり、1枚の紙面に情報を立体的に盛り込んであるので非常に便利で、優れたものだと自負しています。他大学からも「モデルにしたい」と言われているほどです。

「おもしろプロジェクト」 という取り組みについて 紹介ください。

「おもしろプロジェクト」は1996年に広中平祐学長(当時)の提案でスタートしました。学生自らが企画した活動を募集して審査し、合格した活動に対して大学が予算を出すというものです。学生が自分一人でではなく、学部を超えた仲間や社会と連携できるような活動を企画し、先生方で構成

する選考委員会の審査を通ったチームが予算を獲得して活動を実行に移し、1年後には成果を発表します。企画から予算配分、活動の実践までのすべてを学生が行いますから、必ずしも成功するとは限りませんが、失敗も含めて大変貴重な体験をすることになります。その経験は就職の際にも大いに役立つようです。このプロジェクトは山口大学にとって重要なものであり、継続しなくては意味がないと考えて、私が学長に就任後も大切に受け継いで年間500万円の予算を充ててきました。全国的にも優れた教育支援プロジェクトとして認められ、2005年度、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に選ばれ、全国の各大学にも同様の取り組みが広まっています。先生方や地域の方々からも高い評価をいただいています。

表彰対象は大きく2つに分けられ、まず、学業成績が優秀な学生を学部ごとに選んで表彰しています。もう一方は課外活動、スポーツその他で優秀な成績を収めたり、社会貢献…極端な例では人命救助とか、あるいはボランティアなどで活躍した学生についても表彰しています。個人の場合もありますし、大会成績の良い運動部など団体の場合もあります。表彰は年2回、入学式と卒業式の際に行っています。保護者も参列される場ですから、わが子が表彰されると嬉しいでしょうし、学生には励みになるでしょう。トップクラスの学生は皆、表彰するということで、表彰数は年間60~70件ぐらいです。

新入生にはどのような
大学生活を送ってほしいと
お考えですか？

大学生活は勉学だけではなく、課外活動やアルバイト、交遊関係などいろんなことを経験し味わうのですが、大学生としての自覚を持って、バランスのよい大学生活を送ってほしいですね。青春時代の4、5年はアツという間に過ぎてゆきますから、入学したらまず「どういう学生生活を過ごそうか」と大ざっぱでよいので計画を立て、それを実行するために毎日の



吉田キャンパス

生活をコントロールしていくことが大切です。自由な雰囲気も大学生活の特権なので、限界をわきまえながら、たまにはハメをはずす余裕も持ってほしいし、失敗を恐れずにおおらかに過ごしてほしいですね。失敗しても取り返しのつくのが学生時代ですから、いろいろなことに前向きに挑戦してほしい。チャレンジする気持ちが大事です。

大学には、どのようなサポート体制がありますか？特待生制度も含めてお教えください。

大学生は、問題を抱えたら自分で解決しなくてはならない。そこが高校までとは大きく違う点ですが、山口大学には、自ら解決の道を探ればほとんどの問題が解決できるだけのサポート体制が整っています。勉学に関するサポート体制はもちろん、さまざまなお悩みを聞いてくれる学生生活なんでも相談窓口も設置していますので、遠慮せずに利用してほしいですね。メンタルを含めた健康問題や生活面、経済面の相談もできます。保護者のご不幸などで経済的問題が生じたときにも、奨学金制度や支援制度など多様な制度が用意されているので安心してください。そういう体制があることを覚えておいて、困ったとき一人で悩まず、相談室の門を叩いてほしいのです。そうすれば必ず問題は必ず解決します。山口大学の支援体制は他大学よりも充実していると思い

ますので…。また、学長の私が直接学生と話し合うコーヒーアワーという時間も設けています。申し込み予約は必要ですが、何でも相談に乗りますから気軽に足を運んでください。

特待生制度も充実しており、特に成績が優秀な学生には次の学期の授業料を減免する制度もあります。英語の授業にTOEICを導入していますが、TOEIC試験の高得点者には、語学留学の渡航費用支援をする制度もあります。努力は報われるシステムになっていますから、活用できるよう頑張ってほしいですね。

新入生に向けて メッセージをお願いします。

山口は大都会ではありませんが、必要なものはすべてが整っており、勉学環境としては山口大学は日本でもトップクラスのキャンパスだと思います。この恵まれた環境の中でぜひとも勉学に励み、体と心を鍛え・育てる、バランスのよい生活を過ごしてほしいものです。山口大学はあと4年で創基200周年、東大・東北大と並んで高等教育200年の歴史を数えることになります。山口県の教育熱心な風土は、そんな歴史からも明らかですし、吉田松陰や長州ファイブといった先人たちのチャレンジ精神も見習って、たくましい人材に育ってほしい、文武両道を目指してほしいと思います。



Profile

山口大学長

丸本 卓哉

Marumoto Takuya

1967年九州大学農学部農芸科学科卒業。農学博士。山口大学助手、助教授、教授を経て2004年に理事・副学長、2006年に学長に就任、2010年、再選。趣味は武道(空手道7段、居合道4段)、映画鑑賞。

■おもしろプロジェクト

毎年10チーム程度が予算を獲得し、計画を実践しています。予算の上限は長期プロジェクトでは100万円ですが、50万、10万の中間プロジェクト、短期プロジェクトもあります。また、1年で完結する活動もあれば、何年も継続している活動もあります。

(例)「めだかの学校」／平川地区にメダカを呼び戻す活動など、地元の小中学校の自然環境教育を含めたプロジェクトとしてスタート。地域を巻き込んで10年近く続いている。

■コーヒーアワー

丸本学長と学生・教職員が意見交換を行う場として設けられました。勉学、学生生活に関する事、教育・研究、職場環境に関する事などについて、お互いがコーヒーを飲みながら談笑します。事前予約が必要です。

(日時) 平日12:15～13:00頃

(場所) 学長応接室



小串キャンパス



常盤キャンパス

学生の毎日を支援します

充実の学生生活 サポート体制

山口大学では、学費や学生寮、病気やケガなどの健康相談、アルバイトの紹介など、学生が安心かつ充実したキャンパスライフを送れるよう、さまざまな制度やサポート体制を整えています。「学生生活なんでも相談窓口」では何でも気軽に相談でき、保健管理センター や学生相談所などと連携を図り、専門的な助言も行っています。



入学科・授業料

入学科・授業料の納付が困難と認められる場合は、免除制度を受けることができます。ただし、入学科の免除は学資負担者が入学前1年以内に死亡または、入学する者もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等に限られます。また、入学科徴収猶予制度も設けています。詳しい情報は学生支援部学生支援課で案内しています。

区分	金額	納入期日
入学科	282,000円	入学手続きの時
授業料	前期	267,900円
	後期	267,900円
		5月中
		11月中

特待生制度

在学中の学業成績が特に優れ、かつ人物優秀であると認められる学生に対し、前期・後期毎に選考のうえ、各期分の授業料を半額免除する制度があります。1年生は後期から実施され、努力次第で継続できる可能性もあります。なお、免除額等については、在学中に制度が変更となる可能性があります。

奨学金

人物・学業成績ともに優れ、経済的な理由で修学が困難な学生に対する学費助成金として、各種奨学金制度の申請があります。

〈その他の奨学金〉

日本学生支援機構奨学金以外に、地方公共団体、民間団体などの奨学金があります。募集は4、5月がほとんどで、奨学団体からの通知により、学生支援課奨学金用の掲示板に隨時掲示します。

種類	貸与月額		備考
	自宅通学	自宅外通学	
第一種	①30,000円 ②45,000円	①30,000円 ②51,000円	無利子
第二種	① 30,000円 ③ 80,000円 ⑤120,000円	② 50,000円 ④100,000円	有利子 ※卒業後、年3%を上回とする利子付き (利率固定方式と利率見直し方式の選択制)

※詳しくは日本学生支援機構のホームページをご確認ください。<http://www.jasso.go.jp/>

■地方公共団体等奨学金

石川県育英資金、沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金、岡山県育英会、川崎市奨学会、山口県ひとづくり財団 ほか

■民間団体奨学金

あしなが育英会、公益信託井深大記念奨学基金、公益信託池田育英会トラスト、内海奨学会 ほか

保健管理センター

学生の健康増進をかかるため、保健管理センターが設けられています。健康診断やこころとからだの健康相談を通じ、病気の予防や早期発見、治療への早期導入や負傷の応急処置を行い、よりよい学生生活が送れるよう援助を行います。また、入学者全員に「学生健康保険組合」と「学生教育研究災害傷害保険」の加入を勧め、病気や負傷の場合の給付、不慮の事故による障害を救済するための制度も設けています。



学生相談所

学生相談所では、勉学上の問題、対人関係、進路の問題など、大学生活を送る上でのさまざまな問題をカウンセラー(臨床心理士)に相談できます。また、相談所にはゆっくりくつろげるリビングルームがあり、相談に限らず利用できます。相談内容についての秘密は厳守されますので、どんな内容でも安心して相談できます。



学生生活なんでも相談窓口

学生の皆さんからの相談や支援のための諸体制を幅広く理解したスタッフを配置し、専門的な助言を行ったり、保健管理センターや学生相談所などと連携をとり、よりよい学生生活を送れるようきめ細かなサポートを行っています。どんな小さなことでも相談に応じてくれます。

学生

■修学上の相談 ■健康相談・心理相談
■進路相談 ■経済的相談・生活相談

学生生活なんでも相談窓口

保健管理センター

学生相談所

学生寮

山口市の吉田キャンパスに吉田寮(男子)、楓野寮(女子)が、宇部市の常盤キャンパスに常盤寮(男子・女子)があります。入寮選考は、入寮希望者の経済状況などを考慮して決定されます。



吉田寮2号棟



楓野寮



常盤寮A棟



常盤女子寮

寮名	吉田寮 1号棟(男子)	吉田寮 2号棟(男子)	楓野寮 (女子)	常盤寮A棟 (男子)	常盤寮B棟 (男子)	常盤女子寮 (女子)	
対象学生	吉田キャンパスの学生			常盤・小串キャンパスの学生			
収容定員	176人	130人	156人	96人	48人	64人	
寄宿料 (月額)	16,500円	24,300円	700円	4,300円	16,500円	24,300円	
入寮費 (入寮時のみ)	20,000円	20,000円	10,000円	3,000円	20,000円	20,000円	
諸経費 (月額)	1,000円~	1,000円~	10,000円	8,000円	1,000円~	1,000円~	
食費	寮食堂なし	寮食堂なし	朝 100円 昼 250円 夜 250円	寮食堂なし	寮食堂なし	寮食堂なし	
居室	約14m ² (1人部屋)	約18m ² (1人部屋)	約14m ² (2人部屋)	約9m ² (1人部屋)	約18m ² (1人部屋)	約18m ² (1人部屋)	

山口地区的家賃の目安

部屋の態様	家賃
6帖(一部共同)	7,000円~30,000円
6帖・K(各室バス・トイレ・キッチン付)	15,000円~40,000円
7~8帖・K(各室バス・トイレ・キッチン付)	25,000円~50,000円
8~12帖・K(各室バス・トイレ・キッチン付)	25,000円~65,000円

下宿・アパート

一人暮らしを希望する学生に対して、大学周辺のアパートおよび下宿を紹介しています。家賃は地域、建物の築年数、設備などにより異なります。

山口大学 共通教育の特色とねらい



時代に先駆けた、英語教育の TOEIC導入

山口大学では平成14年度から共通教育にTOEICに準拠したカリキュラムを導入し、英語コミュニケーション能力の養成に取り組んでいます。大学教育センター長の岩部浩三教授に、TOEICを活用したカリキュラムを中心に、共通教育について語っていただきました。

岩部 浩三 Iwabe Kozo

大学教育センター長、人文学部言語文化学科教授。
筑波大学大学院修了。

英語教育へのTOEIC導入の きっかけを教えてください。

TOEIC導入については平成12~13年頃から盛んに検討・論議していました。当時は丸本現学長が共通教育センター長で、新しい英語教育は、明確な目標設定を行うこと、成果が検証できることを条件とし、それを通じて教育の質の保証を行うことになりました。卒業要件としてスコアを設定する事になり、学生はそれをクリアしなくてはならないし、教員は学生にクリアさせる努力が求められることになりました。従来の大学は「教育と研究の場」といわれていましたが、現在では教育というより学習の場、つまり教わるのではなく、学生が主体的に学ぶ場になってきており、TOEIC導入はその先がけと言えるでしょう。

TOEICを活用した英語新カリキュラムの特徴とその利点について教えてください。

卒業要件としてスコアが設定されているので、たとえば「2カ月で50点上げる」といった短期的な目標に向かって学

習ができます。さらに、将来必要が生じたら、いつでも学習を再開できる手法を身に付けておくことも重視しています。たとえば企業に就職した後でも必要があれば迷わず勉強を始められる、ということですね。この2点を意識したカリキュラムを組むことによって、山口大学は英語を学習する場になった、と思います。具体的には、週に2時間半は自主勉強しなくてはならない内容を授業で課しています。

また、山口大学では入学してすぐの6月のTOEIC試験は全員が受験しますが、以後は各自が自主的に受けることになっています。つまり、山口大学は学生を支援し、TOEIC対策も授業でサポートしているけれど、目標をクリアするのはあくまでも学生の自立的、自発的な行動、というスタイルが確立されたといえます。

学生たちに覚悟ができてきたせいか、スコアも上がって来ています。山口大学が単独でTOEICを導入していた頃よりスコアはぐっと上がって、特に21、22年度は一気に上がりましたね。授業の出席率もTOEIC導入前に比べると飛躍的に上がり、「TOEIC準備」の

授業の出席率はほぼ100%、受験率も6月は99%を越えています。

その他、共通教育カリキュラムの特徴について教えてください。

山口大学では、教養教育のグラジェーションポリシー7項目を設定しており、共通教育の分野に対応しています。7項目とは、日本語、情報科学、外国語、人文社会科学、自然・応用科学、健康科学、学際領域の各分野であり、それぞれ具体的な目標を掲げ、その目標の達成を目指して授業を開いています。共通教育の抜本的な改革の議論も始まっていますが、英語については既に大きく変わり、続いて情報科学に関しても改善が進みました。従来は学部ごとにバラバラに「情報処理」を学んでいたのですが、現在では全学部共通の統一カリキュラムによる情報処理教育を実施しています。

どの学部に所属していても同じ内容を学べるところに共通教育の意義があります。英語や情報処理教育で先駆的に進ってきたように、他の教養教育においても再編成が進むことになるでしょう。

共通教育の例

誰もが一定の知識や教養を修得できる環境が山口大学にはあります。また、就職活動に直結した共通教育も充実しています。そのほんの一端をご紹介します。

TOEIC準備～目標ラインを目指して学習する～

英語のコミュニケーション能力を高めるために、TOEICテストを取り入れた7週間のフォーラム制授業です。1年生は、入学後すぐに全員がこの授業を受け、TOEICの意義を知り、その学習法と英語学習習慣を身に付けます。

授業は、TOEIC各パートの特徴と、受験に必要な知識・技術を確実に伝えるため、統一の教科書を使用し、全てのクラスが同一の内容と進度を保って実施されます。7週間の授業が終了後、全員TOEICを受験し、スコアに応じて習熟度別クラスが編成されます。その後、それぞれに必要とされる授業を展開し、600点を目指しつつ、すべての学生が卒業時に400点に到達することを目標としています（卒業要件は学部学科により異なります）。



知の広場 -人と学問-～基本理念に基づいた総合教養～

大学の基本理念“発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場”が科目名となった授業です。前期は、入学したばかりの学生が、本学を深く理解し、本学の学生としての自覚を持ってもらうことに重点を置くことから、本学や各学部の設立、発展の経緯、現状、また、学問分野の概要などの講義が行われます。講師は、テーマごとに学長、副学長、学部長などが担当します。



後期は、外部の有識者による講義となります。社会人や人間についての問題意識を高め、目的を持った大学生活が送れるようになることを目標として展開されます。さまざまな経験や考え方を持った魅力的な講師陣から幅広い分野について学べることと、2年生以上も受講できるのが特徴です。初回の授業では、講堂に入りきらない程の生徒が受講しに来るほど、非常に人気が高い科目となっています。

キャリア教育科目～卒業後の将来を見据えた学び～

本学には、入学してから就職・進学までの道のりを共に歩んでいくための多種多様な支援システムがありますが、その1つがキャリア教育科目です。1年次に学ぶ「キャリアデザイン」は、“大学の次のステージ”についてしっかり考え、大学生活を有意義に過ごすための考え方を学ぶ授業で、各種活動支援や個別相談とも連携しています。

3年次には「キャリアと就職」と「キャリア形成とコミュニケーション」の2つがあります。「キャリアと就職」では、働くことの基礎知識を得ることと、“自分のキャリアは自分で作る”という考え方を学びます。「キャリア形成とコミュニケーション」では、プレゼンテーションやグループワークを通じて実践的コミュニケーション能力を高めます。これらキャリア教育科目は学生の就職活動の大きな力となっています。





私たちと一緒に
大学生活を
謳歌しよう!

体育会& 文化会



体育会

アーチェリーアーク

初心者から始める人が多く、基礎となる射型作りから教えますので、気兼ねなく参加できますよ。外での活動なので冬はハンドルが冷たくなかなか厳しい環境ですが(笑)、みんな向上意識が高く持って頑張っています。



硬式野球部

中国地区大学野球連盟二部リーグに所属し、50人の部員がいます。一部リーグ昇格を目指し、日々練習に取り組んでいます。本気で活動する一方で、授業やバイトを優先してもOK。参加しやすい部活です。



バドミントン部

我がバドミントン部は本当に楽しいです。しかしあくまでも目標は勝つこと。個人個人で目標設定は違いますが、それぞれがレベルアップを目指して頑張っています。また部の魅力はアツイところ! 一体感もあります。



柔道部

昭和28年に創部され、OB数が100名を超える伝統のある部です。“日々の練習を楽しむ”をモットーに、練習以外にも食事や遊びで交流を深めています。OBや他大学との親睦も活発に行っています。

ボート部

男女合わせて100人近くの部員で結成し、アットホームな雰囲気が魅力です。全日本大学選手権で優勝することを目指し掲げ、毎日湖の上でボートを漕ぎます。県外まで遠征することもありますね。



女子バスケットボール部

中国地区の一部リーグでインターナショナル出場を目指し、週5日の練習に取り組んでいます。打ち上げや飲み会、季節のイベントをみんなで楽しんだり、メンバー同士の仲も良いですよ。



文化会

邦楽部

尺八や三味線、琴などを実際に演奏し、日本の伝統的な音楽である邦楽を知ることを目標に活動しています。老人ホームなどでの依頼演奏や部主催の定期演奏会などで、練習の成果を発表しています。



茶道部

流派は裏千家。年2回開催するお茶会を目標に、日々稽古に励んでいます。夏休み、春休みの終わりには強化合宿も行っています。大学から始める人も多いので、未経験者でも楽しく活動しています。



全54サークル スポーツマンさん集合!

山口大学には、「体育会」「文化会」合わせて54のサークルがあります。今回、各サークルから1名登場してもらいました。



＼新生活スタート／

山大ライフスポットMAP

平川エリア

昼は山大生でにぎわい、夜は静かな過ごしやすい平川地区。
安くお腹いっぱいになる食事処や、スーパー、書店、コインランドリー、
病院など生活に必要な店・施設がそろっています。
学生が多いため、周辺には比較的安い家賃のアパートも多いようです。



きっちん・すぼっと コーヒーの実



営業時間 12:00～15:30
17:30～20:30
定休日 なし

温かい雰囲気のくつろげる空間で、お腹が空いたときだけでなく、リラックスしたいときにもおすすめ! オープン当初から、メニュー、味、値段がほぼ変わっていません。

人気メニューはフライドチキン、ハンバーグカニコロッケで、女性には鶏肉やチーズを使ったメニューが好評。

火曜日は豚汁がサービスです!!

Cafe Parfait

営業時間 9:00～22:00
(日曜日) 11:00～18:00
定休日 なし



山大通りから小道にそれた場所にある定食屋。

大学生にはうれしいボリューム満点のバラエティに富んだメニューが並び、大盛りやお持ち帰りもOK。うどんのダシからソース、ドレッシングに至るまで手作りなのが自慢! 人気メニューは、チキンカツ定食、唐揚げ定食、カレーです。

ばんぢや屋 山口店



営業時間 11:00～21:00
定休日 火曜

山口大学の正門を出てすぐの場所にあり、通称「ばんどり」と呼ばれ、多くの学生が利用しています。人気メニューは、シーザーサラダ、一番どりタキ、焼き鳥。早食い選手権などの企画があり、サークル・学科ごとのコメントノートも置いてあるので、楽しみ方も多彩です。



博多一番どり 居食家あらい 山口大学前店

営業時間 17:30～翌1:30
(LO 翌1:00)
定休日 なし

新生活が始まる春。新入生の皆さんの中には、初めて一人暮らしをスタートする人も多いことでしょう。山口大学吉田キャンパスのある平川エリア、湯田温泉エリアを中心に、町の様子をご案内します。

湯田温泉エリア

たくさんの飲食店とともに足湯スポット、ボウリングなどの遊技場、カフェもあり山大生をはじめ若者たちでにぎわう温泉街です。「中原中也記念館」や、種田山頭火の句碑がある高田公園など歴史や風情を感じさせるスポットも数多くあります。



いしかわ 伊酒家 Mare

営業時間
(月～金曜) 18:00～翌1:00(LO24:30)
(土曜日) 17:00～翌1:00(LO24:30)
(日・祝日) 17:00～24:00(LO23:30)
定休日 なし

湯田温泉街のメインストリートの一角にあるイタリアンのオシャレな居酒屋。

幅広い客層から人気があり、学生は団体やカップルでの利用が多いそうです。

パスタやピザの食べ放題に、飲み放題が付くお得なコースは90分3200円～(プラス300円で120分)。食後には見た目もかわいいスイーツがおすすめ。年中無休でお正月も楽しめます。



白狐伝説

湯田温泉は、約800年前、傷ついた白い狐が湯浴みをするのを見て源泉が発見されたといわれています。白い狐は今も町のシンボルとされ、湯田温泉駅前には高さ8mの「ゆう太」君が置かれるなど親しまれています。



足湯スポット

足湯は全て無料で屋根付き。気軽に立ち寄れる憩いのスポットとして、観光客だけでなく、地元の人にも人気です。疲れたらホッと一息つけます。





先生
おじゃまします

おじゃました研究室は…

研究室訪問

「メタマテリアルの概念に基づく
超機能材料・デバイス創生」

真田 篤志 准教授 にお話をうかがいました！



大学院理工学研究科(物質工学系学域 量子デバイス工学分野)
真田 篤志 准教授

透明マントが作れる 魔法のような人工材料。

「今私たちは透明マントを作ろうとしています。何か隠したい物体を覆うと360°どこからでも透けて見える透明マントです。SFのようですが、まじめな話ですよ(笑)。というのも、透明マントを作るためには、光の進行方向を思いのままに曲げができる物質が必要なのですが、その物質こそ私たちが研究対象としているメタマテリアルなのです」そう語るのはこの研究推進体を率いる真田准教授。世界初のメタマテリアルを何種類も開発するなど、メタマテリアル研究が始まった黎明期の2000年頃から世界をリードしてきた第一人者です。メタマテリアルは光を自由自在に操ることができる自然界にはない特異な性質を持った人工材料です。

「光の進行方向が変わる現象を“屈折”、その度合いを“屈折率”といいますが、特殊な屈折率を持つメタマテリアルでできたマントで物体を覆えば、光の進行を物体に邪魔されず迂回させることができます。人は反射する光によって視覚的に物体を認識するので、光が

物体に反射せず迂回することで透明に見えるというわけです」

メタマテリアルは、金属やプラスチックなどにナノ(10億分の1m)レベルの微細な加工を施し、一定の配列に並べることによって作られます。2000年、自然界の物質が持たない「負の屈折率」を実現できることが分かり、世界的な注目を浴びるようになりました。通常、光は入射すると入射面で屈折しますが、「負の屈折率」を持つ媒質(仲介物)を介した場合、屈折が“くの字”的に逆方向へ折れ曲がるという現象が起きます。

「この特殊な媒質を利用して、さまざまな屈折率を作り出すことが可能になります。材料やコストなどの問題もあり、実物の透明マントはできませんが、計算上では実現するための設計図ができあがっています」

メタマテリアルを活用する上で、透明マントはあくまでも一例であると真田准教授は語ります。物理限界を超える分解能を持つスーパーレンズ、バーコードに代わる超薄型の電波による個体識別タグ、超大容量光ディスクなどさまざまな形での応用が今後期待されています。



パソコン上で
シミュレーションを行う
真田准教授



メタマテリアルの
構造体がわかる模型

プロジェクトの概要

自然の媒質にはない「負の屈折率」の性質を持つ超機能人工材料(メタマテリアル)の開発、またその基礎理論や基礎技術の確立を目指しています。さらに、それらを大規模かつ安価に製造する方法と評価法を探求しています。

山口大学研究推進体の研究室をご紹介します。

山口大学研究 推進体とは…?

いくつかの領域にまたがる研究テーマに対して、各学部の教授や研究者が専門分野を持ち寄り、学部の壁を超えて取り組む研究グループです。平成16年度に創設、21年度に再編成。地域課題研究の推進拠点づくりや若手研究者の育成を目的とし、世界水準の研究をめざしています。

おじゃました研究室は…

「生物活性揮発性化合物の科学」

松井 健二 教授 にお話をうかがいました!



大学院医学系研究科(応用分子生命科学系学域 生物機能開発科学分野)
松井 健二 教授

匂いには意味がある。 植物同士の会話を研究。

「20~30年前までは『匂い』という香料的な要素のみが注目されていました。しかし、その後、人に対して鎮静や発汗などの生理的作用を与えることが発見されました。また、『匂い物質』(生物活性揮発性化合物)は動物や植物に対しても同様の作用を与えることがわかつてきました。この研究推進体は、幅広い分野の研究者が集まり『匂い物質』を世の中にうまく活用していく方法の開発を目指して発足しました」と研究代表者の松井教授。

「アオムシの体内に卵を産みつけ、その中で育つて成虫になる寄生バチという虫をご存知ですか?まるで映画『エイリアン』に出てきそうですが(笑)。アオムシは草を食べますから、植物たちにとっては、自分たちに危害を及ぼすアオムシが寄生バチに食べられると助かります。だから植物は、匂い物質を発して寄生バチを近くに呼び寄せてアオムシに寄生させ、自分の身を守るんですよ。よく草刈りをした時に独特の青臭みを感じことがありますよね。この匂いには寄生バチを呼び寄せる機能が含まれているんで

す。また、ハスモンヨトウという害虫は大豆畑、トマト畑などを食い荒らすのですが、トマトたちは互いに匂いを発することによって危険の合図を送り合っています。不思議ですが、虫と植物、植物同士は匂い物質を通して会話を交わしているのです」

植物がどのように匂いを感じているのかは解明されていません。ただ人間のような鼻を持たない植物は、匂い物質を体全体で吸収し体内に取り込んでいると松井教授は考えています。「今後この機構を解明していきたいですね。また、植物は毒素や悪臭を吸収して解毒する機能も持っています。シックハウス症候群の原因となる有害物質を軽減させるシステムなど、匂い物質を使って生活や環境に役立つ方法を開発しているところです」

松井教授は元々植物生理学が専門でした。「以前は植物を分子レベルで研究してきましたが、匂いの研究に移りいろいろな相互作用が分かってくると、研究範囲が生態系や地球全体にまで広がっていきました。面白さとともに、匂いが持つ奥の深さを感じています」

植物の匂いを分析する装置
「GCMS」



観察用トマトマイクロトムを実験で使用



プロジェクトの概要

匂いが植物、動物、ヒトへ与える効果について、化学、生物学、生理学、医学などの幅広い分野の観点から解明します。また、匂いの基礎研究とともに、その成果を農業、医療、住環境改善に応用することを目指しています。

シゴトのコト OB & OG Voice 先輩に聞きました

学生時代にしかできない
熱中できることを、
存分に満喫してください。

Profile

畠辺 なな実さん

平成21年 山口大学医学部医学科卒
福岡県出身・宇部市在住

Hatabe Nanami

MY JOB

山口大学医学部附属病院研修医

眼科に勤務（インタビュー時）。指導医のもと、外来・病棟の診察や手術助手として日々勉強しています。

医者になるのは 子どもの頃からの夢でした

小さい頃から「お医者さんになりたい」と思っていました。「手に職をつけなさい」と、両親からもよく言われていましたし、祖母の目の病を目の当たりにして、見えないことで苦しんでいる人たちを治してあげることができればと思ったこともきっかけの一つです。



他大学にはあまりない

「自己開発コース」を救急医療現場で体験

山口大学で医者を目指す段階は、まず1年次に全員、吉田キャンパスで共通教育科目を履修します。2年から医学部のある小串キャンパスで専門科目の履修が始まります。朝から晩までしっかり授業があり、体のしづみを1年

かけて学びます。その間、2週間ごとに試験があり、単位を落とさないようについていくのが必死でした。

山口大学医学部には、他大学にはあまり見られない「自己開発コース」というカリキュラムがあります。このコースは3年次にあり、多岐にわたります。海外でボランティアをしたり、アニマルセラピーの研究をする人がいたり…。その中で私は「救急車に乗ってみたい」と思い、救急の現場へ。消防の通信指令室へ入る第一報から、救急車で出動し現場へ行き、患者を病院へ搬送する。実際に現場へ行くと、場所や状況によってはすぐに搬送できないなど、予想を上回る緊迫の場面が多々あると分かり、貴重な経験になりました。4年生で病気について学び、5年生では「ポリクリ」という病棟実習を行い、2週間ごとに全診療科を回ります。さらに6年生は自分で選んだ3科で実習をし、いよいよ国家試験に挑みます。

学問もサークル活動も とことん打ち込んだ方がいい

3年のとき友人に誘われバンドサー

クルへ入りベースを担当。サークルでは音楽でセッションするのはもちろん、他学科の人や学外の人たちと交流することもでき、楽しくて仕方ありませんでした。こんな楽しいことは我慢せず思いっきり打ち込みたいと思い、6年次に立てた目標は「全ライブ出演と国家試験合格!」。無事に目標は達成しましたよ。

学生時代にしかできないこと、自分が熱中していることを存分に満喫してください。今、研修医として多忙な毎日を送っていますが、あの時、自分がしたいものを我慢せず成し遂げたことは、私の中で大きな糧となっています。

いついかなる状況にも対応できる医者を目指し、これからは救急医療なども勉強する予定です。

いつまでも謙虚な気持ちを忘れずにいたいです。



たとえ理系の仕事でも コミュニケーションが すべての場面で大切です。

Profile

上田 幸正さん 平成16年 山口大学理学部卒
Ueda Kousei

MY JOB

日立物流ソフトウェア株式会社
システム事業本部 SCMシステム部 第三G
それぞれの顧客ニーズに細かく対応した物流システムを構築し、納品しています。

ITバブル時代の 理学部学生でした

熊本県から山口大学に入学したのは、ちょうどミレニアムに沸く2000年でした。いわゆるバブルはとうに終わっていましたが、代わって「ITバブル」が出てきた時期で、楽天などが急成長した頃ですね。

私は専門がそのIT系だったので、就職に関しては今の学生ほど困難は感じませんでした。とはいえ、もちろん就職活動はIT系に絞っていろいろ努力しましたが。

今私は、システム構築の仕事をしていますが、理系の知識や能力だけでは仕事は円滑にできないということを、学生の皆さんにお話したいと思います。

よく聞き、理解し、伝える それはすべての基本です

私の仕事は、クライアントの要望をよく聞き、それにきめ細かく対応したシステムを構築して納品することです。これには、理系の能力以前に「コ

ミュニケーション能力」がとても大切です。

どんな仕事を選ぶにせよ、いや、仕事に限らずどんな場面でも、相手の言うことをよく聞き、理解し、自分の言いたいことをきちんと相手に伝えるというのは基本だと思います。

今、就職試験では、そのコミュニケーション能力を重視する傾向が強くなっているといわれています。

コミュニケーション能力は職種に関係なく必要で「理系だから、その知識や技術があればいい」というものではなくなっています。

私は大学時代、七夕祭の実行委員を



理学部OB座談会で業界の説明をする上田さん

やりました。そこには、学部も学年も違う人たちがいて、普段の学校生活とはまた違う刺激がありました。

そんないろいろな人たちと一緒に4か月かけてイベントを企画していく中で、コミュニケーション力を身に付けることができたように思います。そのときの友人とは、今でも連絡を取り合っています。一緒に何かを成し遂げた仲間というのは、独特のつながりができるますね。

また、アルバイトを通じて、社会のいろいろな人と話をする機会を作ったことも良かったと思います。友達同士の狭い世界だけでは、自分の力を伸ばすのは難しいかもしれません。

後輩の皆さんたちの 活躍を願っています

今は千葉に住んで、東京に通勤しています。趣味は大型バイク。近くに走れる場所がないのが残念です。

山口を訪れる機会はありませんが、後輩の皆さんのがコミュニケーションの力を養って、さまざまな世界に飛び出してくれることを願っています。



NEWS & TOPICS

こちら山大情報局

山大のコトがもっとわかる話題やニュースをお届けします。

NEWS & TOPICS 01

沖本智昭講師(市民のためのがん治療の会 山口県支部長)編集の『がん医療の今』

市民のためのがん治療の会は、これまで、アメリカ国立がん研究所(NCI)のパンフレットの翻訳である『安心して受ける放射線治療』、本格的単行本の『がんは放射線治療でここまで治る』、『放射線治療医の本音—がん患者2万人と向き合って—』を発行し、わらをもつかむ思いで日々を過ごしている多くのがん患者さんとその家族に、がんの治療法の中で認知度の低い放射線治療に関する情報を提供してきました。また、2009年9月からは毎週、がん医療の第一線で活躍する医師や研究者による、放射線治療に限らない、がん医療に関するさまざまな最新情報をホームページで紹介しています。

このたび、その貴重な寄稿をまとめ、一冊の本として『がん医療の今』を発行しました。最新のがん治療情報の例としては、先日、地球一周アースマラソンを達成した、間 寛平さんの前立腺がんを治療した、米国カリフォルニア大サンフランシスコ校の篠原克人教授による米国の前立腺がん治療の現状報告、今年1月に内閣官房参与・内閣官房医療イノベーション推進室長に就任した東京大学医科学研究所の中村祐輔教授によるがんペプチドワクチン療法についての紹介、また山口大学医学部附属病院放射線科の沖本智昭講師に

よる肝細胞がんへのピンポイント照射による放射線治療法も紹介されています。

本書には2つの大きな特徴があります。一つは、最新のがん治療に関する情報を項目ごとにQ&A形式で、患者さんの視点からの疑問にわかりやすく答えていること。もう一つは、安心して治療を受けるために必要な環境整備への提言や、賢い患者になるための自衛策について紹介している点です。

今日、長生きすれば2人に1人はがんになる時代です。がん医療は日進月歩ですが、すべてのがん患者さんが最新医療の恩恵を受けているとは言えません。『がん医療の今 第一集』が果たす役割は大きいと信じます。

この本は山口大学生協で入手可能です。



NEWS & TOPICS 02

纈纈厚教授の『私たちの戦争責任』などの翻訳版と復刻版

人文学部教授で歴史学が専門の纈纈厚教授の著書を紹介します。2008年に出版された『私たちの戦争責任』(凱風社)は、これまでさまざまな雑誌に発表してきた歴史認識に関わる論文や評論を集めて編纂されました。帯にある「過去の戦争に責任はなくとも、明日の戦争には責任がある。」の一文は、纈纈教授が長年温めてきた戦後世代へのメッセージです。戦後世代には、直接戦争当事者としての責任はないが、過去の戦争を曲解、改竄、否定することなく正しく理解し、継承していく責任があります。それを纈纈教授は、「戦後責任」や「未来責任」という言葉で語り続けてきました。この本はアジア各地で反響を呼び、昨年、中国では人民日报出版社、台湾では人間出版社から翻訳出版されています。また、出版を機に、纈纈教授は、2010年9月、中国で人民日报、環球時報、人民網など大手メディアとの共同記者会見に臨みました。折しも尖閣諸島領有問題で日中関係が悪化していた時期で、中国側の不満の矛先は、日本側の歴史認識の曖昧さに向けられていきました。過去から学ぼうとしない姿勢が、日本への警戒感を生んでいるのです。

昨年、韓国では『쇼와 천황과 일본 패전(昭和天皇と日本敗戦)』も

翻訳出版されました。韓国社会では「日皇」(日本天皇制)についての关心が高まっており、その要請もあっての出版でした。韓国の学会では、近年、客観的な視点からの日本近現代史研究が活発で、纈纈教授は講演依頼も受けています。

また、纈纈教授が20代最後の年に出版した『総力戦体制研究』(三一書房、1981年)が、30年ぶりに復刊されました。纈纈教授のライフワークである総力戦研究の原点がここにあります。



中国版『我们的战争责任』(中国:人民日报出版社 2011年1月)
台湾版『我們的戰爭責任』(台湾:人間出版社 2010年12月)
韓国版『쇼와 천황과 일본 패전』(韓国:제이엔씨 2010年2月)
復刻版『総力戦体制研究』(東京:社会評論社 2010年10月)

NEWS & TOPICS 03

山口大学とコクヨS&Tの共同開発の研究ノート「リサーチラボノート」に普及タイプ(エントリーモデル)が登場

山口大学とコクヨグループのコクヨS&T株式会社は、発明者の権利を守るために研究ノート「リサーチラボノート」を共同開発し、平成17年4月から全国の大学生協やコクヨ取扱店で販売しています。

このノートは産学公連携・イノベーション推進機構 知的財産部門 佐田洋一郎教授を中心に研究開発し、商品化に至ったもので、大学にとって重要な知的財産保護のために、研究・発明の内容、経緯の記録改ざん防止の工夫が施されています。例えば、「連続ページ番号が打ってある」「特殊な糸で綴じてあるので破ったり付加してもすぐに分かる」「確認者の署名・捺印欄がある」などです。このたび、従来のスタンダードタイプ、ポータブルタイプ、ハード表紙タイプに加え、普及タイプである、「エントリーモデル」が加わりました。

「エントリーモデル」は、ページの抜き差しが一目でわかるように、改ざん防止用の特殊な模様のパターンをノート側面に印刷して証

據力を保持し、無線綴じ製本で見開き性を確保しました。さらに書籍印刷からノート印刷方式を採用するなどの数々の工夫により、価格をスタンダードタイプの約3分の1にまで下げることができます。同じサイズ・枚数のキャンバスノートとほぼ同価格で、入手しやすくなっています。特に学生、院生の皆さんにお勧めしたいノートです。知的財産部門は、今後も研究者の権利を守るためにツール開発に努めてまいります。



<http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/labnote/index.html>

NEWS & TOPICS 04

下関地域と山口大学の交流会

2月1日(火)、下関市内で「下関地域と山口大学の交流会」を開催しました。地域との交流会は、平成18年から、地域の企業等との連携強化を図るため、県内を①周南地域、②岩国地域、③下関地域、④宇部・山陽小野田地域、⑤山口地域、⑥防府地域、⑦萩・長門地域の7地域に分けて開催しています。平成21年からは2巡目に入り、このたびの下関地域との交流会は2巡目の3地域目の開催です。

交流会では、下関地域企業の国際活動等に関するアンケート調査に基づき、山口大学との連携協力の方向性および産学公連携の在り方を主な懇談内容とし、81人が参加しました。

初めに、丸本学長から「本学は地域の基幹総合大学として地域に開かれた大学を目指しており、大学の現状をご理解いただくとともに、地域の方の忌憚のない意見を今後の大学運営に役立てたい」と挨拶があり、続いて、企業側を代表して下関商工会議所会頭か

ら、「この交流会を機に山口大学との連携を強化し、地域を活性化したい」と歓迎の言葉がありました。その後、「山口大学の産学連携への取り組み」、「山口大学の就職支援の状況」の現況報告を行いました。休憩をはさみ、経済学部の外国人留学生から「外国人留学生から見た山口県」のスピーチがあり、地域活性化のための大学の知の活用と優秀な留学生の採用を参加者に呼びかけました。また、意見交換では、企業側から今後の地域貢献の在り方や地域と大学の連携に関する質疑や意見が活発に出され、盛会のうちにすべてのプログラムが終了しました。今後も、積極的な事業展開を前提に各地域の課題に沿ったテーマで県内を巡り、さらに交流を深める予定です。



NEWS & TOPICS 05

山口大学学内業界・企業研究会やまぐちdayを開催

2月15日(火)、第2学生食堂「きらら」において、山口県内の業界・企業研究会「やまぐちday」を開催し、本学の学生のほか、県内大学・高等専門学校等の学生合わせて171人が参加しました。

山口大学では例年、学生が就職に向け、業界や企業についての理解を深めるために、経営者や人事担当者など社会で活躍している方々をキャンパスに招き、学内業界・企業研究会を開催していますが、県内の事業所に限定した研究会は今回が初めてです。また、山口県の高等教育機関、事業所、経済団体、行政機関が連携し、企業へのインターンシップ推進を目的に設立された「山口県インターンシップ推進協議会」の協力により、県内の高等教育機関の学生全員に参加を呼びかけるなど、若者のキャリア教育に産学地域連携で取り組んだ、新しい試みとしてのイベントとなりました。

研究会には34の企業・官公庁等が参加し、ブースを設けて学生

の個別質問に対応しました。自由訪問方式のブースでは、学生は興味のある企業の事業内容、社風、企業が求める人材、また、公務員志望の学生は、試験の対策などについて熱心に質問していました。このほか、市役所・国立大学法人のセミナーやエントリーシート・面接対策講座に加えて、山口新卒応援ハローワーク、山口県若者就職支援センター(YYジョブサロン)、山口県情報を提供する特設コーナーも設置され、会場は多くの学生でにぎわいました。

参加した学生の多くは県内での就職を希望しており、「ブース訪問でより理解を深めることができた」と感想を述べるなど、この研究会で就職への手掛かりをつかんだようでした。



EVENT CALENDAR

イベントカレンダー(4月・5月)

4月	4日	月	入学式
	5日	火	オリエンテーション・フレッシュマンセミナー(～7日)
	8日	金	前期授業開始、前期履修登録開始(～21日)
	9日	土	新入生歓迎フェスティバル2011(共通教育棟周辺) おもしろプロジェクト'10報告会(第2学生食堂)
	16日	土	新留学生研修会
	21日	木	合同企業説明会(大学会館)(～22日)
5月	16日	月	AO入試説明会(グランピア広島、広島) 合同企業説明会(大学会館)
	17日	火	AO入試説明会(西鉄ソラリア、福岡)
	18日	水	AO入試説明会(山口グランドホテル、山口)

広報委員会委員

- 西田 輝夫(副学長(総務企画担当)) ●木下 武志(副学長補佐) ●坪郷 英彦(人文学部) ●石井 由理(教育学部)
- 成富 敬(経済学部) ●木内 功(理学部) ●坂井田 功(医学部) ●清水 則一(工学部) ●阿座上 弘行(農学部)
- 何 肇毅(大学教育機構) ●近久 博志(産学公連携・イノベーション推進機構) ●小河原 加久治(大学情報機構)
- 長畠 実(エクステンションセンター長) ●藤井 大司郎(アドミッションセンター長) ●梅木 哲也(総合企画部広報チーム)

広報学生スタッフYU-PRSS(ユープラス)

- 小枝 佑佳 ●繁富 志織 ●島津 梢 ●安成 啓佑 ●林田 久恵 ●原内 由佳 ●桐原 祐太 ●国本 亮
- 久保田 法彦 ●入江 貴博 ●佐々木 裕美 ●黒江 那津子 ●長岡 奈緒子 ●前田 梨乃 ●吉岡 優一
- 河島 あかね ●溝口 明音